

スタートアップガイド

hp x4000 ワークステーション



Manufacturing Part Number : A8058-90007

2002 年 5 月

© Copyright 2002 Hewlett-Packard Company

© Copyright 2002 日本ヒューレット・パカード株式会社

ご 注 意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 本書は内容について細心の注意をもって作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社までお知らせください。
3. お客様の誤った操作に起因する損害について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 当社では、本書に関して特殊目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。
5. 当社提供外のソフトウェアの使用や信頼性についての責任は負いかねます。
6. 本書の内容の一部または全部を、無断でコピーしたり、他のプログラム言語に翻訳することは法律で禁止されています。
7. 本製品パッケージとして提供した本マニュアル、フレキシブルディスクまたはテープカートリッジ等の媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書は著作権によって保護される内容が含まれます。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

HEWLETT-PACKARD COMPANY

3000 Hanover Street

Palo Alto, California 94304 U.S.A.

日本ヒューレット・パカード株式会社

〒 168-0072 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 29 番 21 号

TEL 03-3331-6111(大代表)

Adaptec® は、Adaptec, Inc. の登録商標です。

Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

nVIDIA™、GeForce2 GTS™ および Quadro2 MXR™ は、nVIDIA Corporation の登録商標または商標です。

Fire GL™ は、ATI の商標です。

Matrox® は、**Matrox Electronic Systems Ltd.** の登録商標です。

Microsoft®、**Windows®**、**MS-DOS®**、**Windows 2000®** および **Windows XP®** は、米国 **Microsoft Corporation** の米国における登録商標です。

Pentium® および **AGPset™** は、**Intel Corporation** の登録商標です。

WOL™(Wake on LAN) は、**IBM** の商標です。

Rambus および **RDRAM** は、**Rambus, Inc.** の登録商標です。

Direct Rambus、**Direct RDRAM** および **RIMM** は、**Rambus, Inc.** の商標です。

出版履歴

マニュアルの出版の日付および部品番号は、現在の版を示します。出版の日付は、最新版ができるたびに更新します。内容の小さな更新に対しては、増刷の際に対応し、出版日の更新は行いません。マニュアルの部品番号は、改訂が行われるたびに更新します。

新版の作成は、記載内容の訂正またはドキュメント製品の変更にもな行われます。定期的に **Web** サイトを参照して、最新のバージョンを入手してください。お手元のマニュアルが最新のもののか否かは、担当の当社営業に確認してください。

第 2 版 : 2002 年 5 月

Printing Division:

Hewlett-Packard Co.
Technical Computer Division
3404 E. Harmony Rd.
Fort Collins, CO 80525

日本ヒューレット・パカード株式会社
〒 168-0072 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 29 番 21 号

原 典

本書は、『*getting started guide hp x4000 workstation*』 (HP Part No. A8058-90001) を翻訳したものです。

警告

人間工学に関する重要情報	8
参考資料	9
印刷マニュアル	9
HP の Web サイトからのマニュアルのダウンロード	9
その他の Web サイト	9
カスタマサポートの連絡先	9

1. ワークステーションのセットアップおよび使用方法

ワークステーションのセットアップ	12
作業スペースの準備	12
グラフィックカードの取り付け	13
コンポーネントの接続	13
オーディオアクセサリの接続	15
ネットワーク (LAN) への接続	15
CD-RW ドライブをご使用の前に	16
電源コードの接続	16
x4000 ワークステーションの使用方法	17
コントロールパネルについて	17
ワークステーションの起動とシャットダウン	18
HP マルチメディアキーボードの使用方法	20
ワークステーションの構成の表示	22
ワークステーションの構成	22
パスワードの設定	25
パスワードの削除	25
電源管理の使用	26
快適で安全な作業のために	27
作業環境の整備	27
作業時の姿勢	28
その他の人間工学上の問題	29
ワークステーションのリサイクル	30

2. トラブルシューティング

概要	32
ハードウェアの問題の解決	33
ワークステーションが正常に起動しない	33
キーボードが動作しない	33
モニターが動作しない	34
マウスが動作しない	34

目次

オーディオが動作しない	35
CD-RW が動作しない	35
パスワードを忘れてしまった	35
診断 LED の意味	37
ハードウェア問題への e-DiagTools の使用	40
ハードディスク上のユーティリティパーティションからの e-DiagTools の 起動 (推奨)	40
CD-ROM からの e-DiagTools の起動	41
HP リカバリ CD-ROM	42
利用可能な機能	42
リカバリを実行する前に	42
フルリカバリの実行	43
HP x4000 のハードウェア特性	45
HP カスタマケアセンターの電話番号	46

A. 保証および規制に関する情報

規制についての情報	49
HP ハードウェア保証	52
3 年間限定ハードウェア保証	52
保証限度	53
責任および補償の制限	53
出張保証サービスの受け方	53
お客様の責任	54
部品保証サービスの受け方	55
電話サポートサービス	55
HP ソフトウェア製品限定保証	56
ソフトウェア	56
オペレーティングシステム	56
HP ソフトウェアライセンス契約	57

警告

コンピュータやディスプレイを安全に持ち上げられる確信がない場合は、一人で移動しようとしてください。

安全のため、必ずアース付きの壁コンセントに装置を接続してください。電源コードは、この装置に付属するコードや国の規則に準拠したコードなど、適切にアースされたプラグ付きのコードを必ず使用してください。ワークステーションは、電源コードをコンセントから外すことで電力が切断されます。そのため、ワークステーションは手の届きやすい電源コンセントの近くに設置してください。

安全のため、ワークステーションのカバーを取り外す際には必ず電源コードをコンセントから抜き、通信ネットワークへの接続ケーブルをすべて取り外してください。ワークステーションの電源を入れる前には、必ずカバーを取り付けてください。

警告

感電を防ぐため、電源装置を開けないでください。電源装置内部を、お客様が直接修理することはできません。

この製品は、クラス 1 のレーザー製品です。感電およびレーザー光による眼への損傷を防止するため、レーザーモジュールを開けないでください。レーザーモジュールは、資格をもったサービス担当者以外は点検・修理できません。

人間工学に関する重要情報

ワークステーションを使用する前に、人間工学上の情報をお読みになることを強くお勧めします。**27** ページの「快適で安全な作業のために」を参照してください。

参考資料

印刷マニュアル

ワークステーションに付属する印刷マニュアルは、本書『**x4000** ワークステーション スタートアップガイド』のみです。本書には、基本的なセットアップおよびインストールに関する情報、基本的なトラブルシューティングの方法、および保証に関する情報が記載されています。

HP の Web サイトからのマニュアルのダウンロード

HP ワークステーション Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)、www.jpn.hp.com/go/manual(日本語)) には、ダウンロード可能なマニュアル、サービスオプションやサポートオプション、および最新バージョンのドライバやユーティリティなどの幅広い情報が提供されています。

Web 上では、『**x4000 Technical Reference and Troubleshooting Guide**』を公開しています。このマニュアルには、ワークステーションのシステムボードのスイッチ、消費電力と騒音のテスト構成、トラブルシューティング、システムのアーキテクチャなどの情報が記載されています。

その他の Web サイト

- www.hp.com/go/workstationsupport(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語) では、ワークステーションの最新のドライバおよび BIOS の情報を提供しています。
- www.jpn.hp.com/go/toptools からは、PC 管理用ソフトウェア、HP TopTools に関する情報を入手できます。
- www.hp.com/ergo では、オンライン版の「*Working in Comfort*」が参照できます。この文書は、ワークステーションのハードディスクにもプリインストールされています。

カスタマサポートの連絡先

46 ページの「HP カスタマケアセンターの電話番号」を参照してください。

1 ワークステーションのセットアップおよび 使用方法

ワークステーションのセットアップ

警告 **ワークステーションやモニターを安全に持ち上げられる確信がない場合は、一人で移動しようとししないでください。**

以下の項目ごとに、**x4000** ワークステーションのセットアップ方法を説明します。状況によっては、必要のない手順も含まれています。

- 12 ページの「作業スペースの準備」
- 13 ページの「グラフィックカードの取り付け」
- 13 ページの「コンポーネントの接続」
- 15 ページの「オーディオアクセサリの接続」
- 15 ページの「ネットワーク (LAN) への接続」
- 16 ページの「CD-RW ドライブをご使用の前に」
- 16 ページの「電源コードの接続」

作業スペースの準備

1. すべてのコンポーネントを開梱します。
2. モニターは、電源コンセントに近く、キーボードやマウス、その他のアクセサリを置くのに十分なスペースがある頑丈な机に設置します。
3. ワークステーションは、頑丈な机または床の、背面のコネクタが操作しやすい場所に置きます。ワークステーションは、周辺装置とケーブルを接続できる距離に設置してください。

取り付け工具

ワークステーションのセットアップには、工具は必要ありません。ただし、グラフィックカードを取り付ける場合は、**T-15 Torx** ドライバとマイナスドライバが必要になります。

グラフィックカードの取り付け

ワークステーションの出荷時にグラフィックカードが取り付けられていない場合は、グラフィックカードを取り付ける必要があります。取り付け手順の説明書は、グラフィックカードに付属しています。

コンポーネントの接続

コードやケーブルをワークステーションに接続する前に、7 ページの「警告」をお読みください。

14 ページの図 1-1 に、ワークステーションの背面パネルを示します。コンポーネントを接続するときは、色分けされたコネクタには同色のケーブルを接続してください。**コネクタは逆向きには挿入できないようになっています。**

1. マウスを接続します。
2. モニターを 15 ピン ディスプレイコネクタに接続し、取り付けねじを締めます。
3. HP マルチメディアキーボードの 3 本のケーブルを接続します。
 - キーボードコネクタは、紫のコネクタに差し込みます。
 - ピンクのマイクコネクタは、マイク用ジャックに差し込みます。
 - 黄緑のヘッドホンコネクタは、出力ラインジャックに差し込みます。**スピーカーがない場合は、このコネクタを接続しないでください。**

注記

マルチメディアキーボードの出力ラインジャックを接続すると、内蔵スピーカーは無効になります。そのため、キーボードのヘッドホンコネクタをワークステーションの背面に接続する場合は、音声出力を得るためにスピーカーまたはヘッドホンをマルチメディアキーボードの背面に接続する必要があります (詳細は 15 ページの「オーディオアクセサリの接続」で説明しています)。

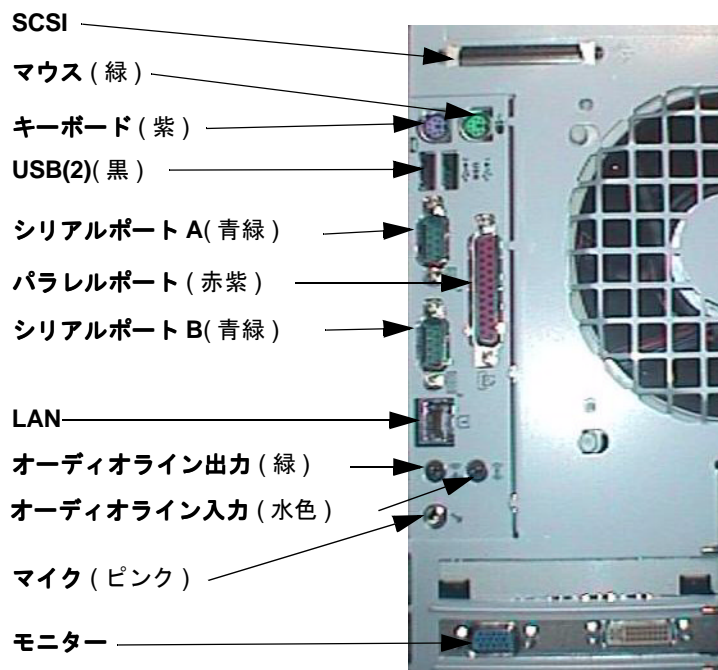
4. プリンタを使用する場合は、プリンタケーブルを接続して取り付けねじを締めます。
5. シリアルデバイスを使用する場合は、シリアルポート **A** または **B** に接続します。

注記

USB(ユニバーサルシリアルバス)コネクタは、USB アクセサリ用のものです。
x4000 ワークステーションは、USB マウスあるいは USB キーボードをサポートしていません。詳細は、www.hp.com/go/workstationsupport の『*x4000 Technical Reference and Troubleshooting Guide*』(英語)を参照してください。

図 1-1

背面パネルのコネクタの配置



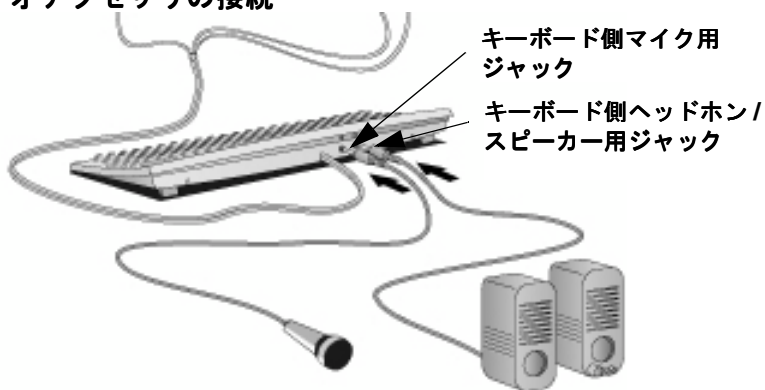
オーディオアクセサリの接続

図 1-2 に示すように、マイクとヘッドホン (またはアンプ内蔵のスピーカー) を HP マルチメディアキーボードに接続します。

警告 **大音量のサウンドを長時間聴いていると、難聴になる恐れがあります。**

注記 ワークステーションの背面にある出力ラインジャックを使用すると、内蔵スピーカーは無効になります。キーボードのヘッドホンコネクタをこのジャックに接続した場合は、オーディオ出力用のスピーカーまたはヘッドホンをキーボードに接続しないと音声は出力されません。

図 1-2 **オーディオアクセサリの接続**



ネットワーク (LAN) への接続

ワークステーション付属の 10BT/100TX LAN オートセンシングインタフェースアダプタは、10Mbit/s と 100Mbit/s の両方の速度をサポートしています。

ネットワークケーブルを、14 ページの図 1-1 に示す LAN コネクタに接続します。

CD-RW ドライブをご使用の前に

ご使用の HP ワークステーションにインストールされている **CD-RW** ドライブには、ソフトウェアがプリロードされていません。**CD-RW** ドライブの書き込み / 再書き込みの機能をご使用になる前に、**Application CD-ROM**（ワークステーション添付またはアクセサリキット付属）から手動でアプリケーションをインストールしてください。アプリケーションのインストールは、以下の手順で行います。

1. **CD** ドライブに **Application CD-ROM** を挿入します。
2. インストールウィンドウが表示されたら、言語を選択して、指示に従ってアプリケーションをインストールします。
3. すべてのアプリケーションがインストールされたら、システムを再起動します。
4. システムの再起動後、**CD-RW** ドライブのすべての機能が使用できるようになります。

上記のソフトウェアパッケージをインストールしない場合には、**CD-RW** ドライブの読み取り機能しか使用できません。

電源コードの接続

警告

安全のため、必ずアース付きの壁コンセントに装置を接続してください。電源コードは、この装置に付属するコードまたは国の安全基準に準拠したコードなど、適切にアースされたプラグ付きのコードを必ず使用してください。ワークステーションは、電源コードをコンセントから外すと電源が切断されます。電源コンセントの近くに装置を設置してください。

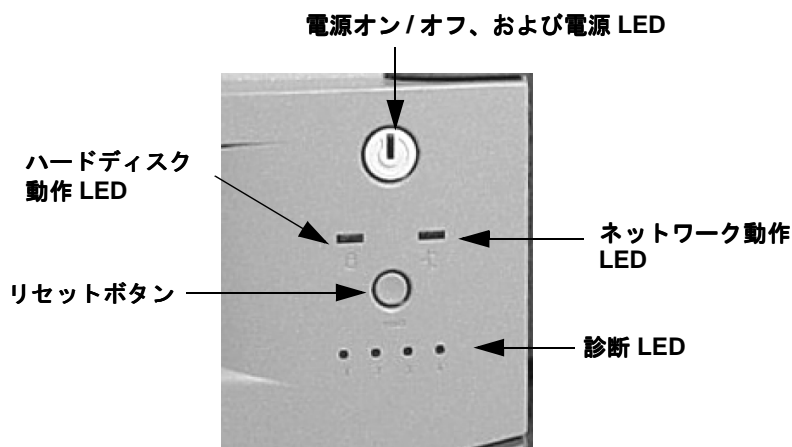
1. 電源コードをモニターおよびワークステーションの背面に接続します。
2. 両方の電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。

x4000 ワークステーションの使用方法

コントロールパネルについて

ワークステーションの背面にあるハードウェアコントロールパネルを、図 1-3 に示します。

図 1-3 ハードウェアコントロールパネル



- 電源オン/オフボタン: このボタンを押してワークステーションを起動します。また、休止モードまたはスタンバイモードにあるワークステーションを元に戻すには、このボタンを 4 秒未満押します。このボタンを 4 秒以上押すと、ワークステーションの電源がオフになります。
- 電源 LED:
 - 緑色の点灯は、システムが動作中であることを示します。
 - 黄色の点灯は、ワークステーションがスタンバイモードまたは休止モードにあることを示します。26 ページの「電源管理の使用」を参照してください。
 - 黄色の点滅、赤色の点滅、赤色の点灯は、システムエラーが発生していることを示します。37 ページの「診断 LED の意味」を参照してください。

ワークステーションのセットアップおよび使用方法

x4000 ワークステーションの使用方法

- リセットボタン: このボタンを押すと、システムの電源をオン / オフしなくてもすべてのハードウェアが再初期化されます (ソフトブート)。ファイルに損傷を与えることがあるため、このボタンはあまり使用しないでください。マシンをリセットする場合には、オペレーティングシステムの **シャットダウン** コマンドを使用するようにしてください。
- ハードディスク動作 **LED** - ハードディスクへのアクセス中に点滅します。
- ネットワーク動作 **LED** - ワークステーションが起動しているかどうかにかかわらず、ワークステーションがネットワークに接続され、電源に接続されているときに点滅します。
- 診断 **LED** - これら **4** つの **LED** は、消灯しているか、緑、黄、または赤に点灯します。これらの色のパターンから、ワークステーションの問題を診断することができます。詳細は、**37** ページの「診断 **LED** の意味」を参照してください。

ワークステーションの起動とシャットダウン

ワークステーションには、**Windows 2000 Professional** または **Windows XP** がプリインストールされています。ワークステーションを最初に起動したときに、**Windows** が初期化されます。このソフトウェアの初期化プロセスには数分かかります。このプロセスで、コンピュータに取り付けられたハードウェアを使えるようにソフトウェアがセットアップされます (ソフトウェアが初期化された後でも設定変更は可能です)。

注記	Windows 2000 Professional および Windows XP オペレーティングシステムは、両方ともワークステーションに付属する <i>HP Workstation Recovery CD-ROM</i> に収録されています。詳細は、 43 ページの「フルリカバリの実行」を参照してください。
-----------	--

ワークステーションの最初の起動

1. モニターの電源を入れます。
2. コントロールパネルの電源ボタンを押します。ワークステーションを起動すると、以下の処理が行われます。
 - ワークステーションのロゴが表示されている間に、電源投入時の自己診断 (**POST**) が実行されます。自己診断の詳細を表示するには、**[Esc]** キーを押します。**POST** でエラーが検出された場合は、エラーが自動的に表示されます。
 - POST** が完了すると、自動的にソフトウェアの初期化が行われます。

注意 ソフトウェアの初期化中は、ワークステーションの電源を切らないでください。

- ソフトウェアライセンス契約が表示され、「**Working in Comfort**」(コンピュータユーザーへの人間工学に基づいたアドバイス) を読むこともできます。
3. オペレーティングシステムのセットアップに関する以下の質問に答えます。
- コンピュータ名には、ワークステーション名を入力します。
 - 管理者パスワードには、管理者パスワードを割り当てることができます (オプション) 。
4. メッセージが表示されたら、**[完了]** をクリックしてワークステーションを再起動します。再起動が終わると、初めてログインすることができます。

システム修復ディスクの作成

オペレーティングシステムのシステム修復ディスクを作成しておくことは非常に重要です。未使用の新しいディスクを使用してください。

修復ディスクを作成する方法については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

ワークステーションのシャットダウン

注意 電源を切るときは、必ずオペレーティングシステムから操作してください。システムをオペレーティングシステムからシャットダウンできないとき以外は、電源ボタンやリセットボタンで電源を切らないでください。電源ボタンやリセットボタンで電源を切ると、開いているアプリケーションの未保存のデータが失われる可能性があります。

ワークステーションをシャットダウンする手順は次のとおりです。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. **[スタート]>[シャットダウン]** の順に選択します。ダイアログボックスに、オペレーティングシステムでサポートされるシャットダウンオプションが表示されます。
3. いずれかのオプションを選択し、**[OK]** をクリックします。スタンバイや休止モードなどのシャットダウンオプションの詳細は、26 ページの「電源管理の使用」または **Windows** のマニュアルを参照してください。

HP マルチメディアキーボードの使用法

警告 キーボードや入力デバイスを長時間にわたって適切でない使い方をすると、手や腕の柔組織に反復性疲労障害 (RSI) をきたすことがあります。ワークステーションの使用時に不快感や痛みを感じた場合は、すぐに使用を中止し、できるだけ速やかに医師の診察を受けてください。詳細は、27 ページの「快適で安全な作業のために」を参照してください。

HP ワークステーションには、21 ページの図 1-4 に示すような HP マルチメディアキーボードが付属しています。

HP マルチメディアキーボードには、以下のような操作を行うためのソフトキーがあります。

- キーに割り当てた機能を表示または設定します。
- ワンタッチショートカットとして、アプリケーションの起動、ファイルのオープン、またはインターネット上の **Web** サイトへのアクセスを行うことができます。
- システムに付属するインターネットブラウザを起動します。
- ワークステーションをロックまたはサスペンドします。
- **HP TopTools** およびカスタマイズインフォメーションにアクセスします。
- オーディオシステムのボリュームをミュートまたは調節します。

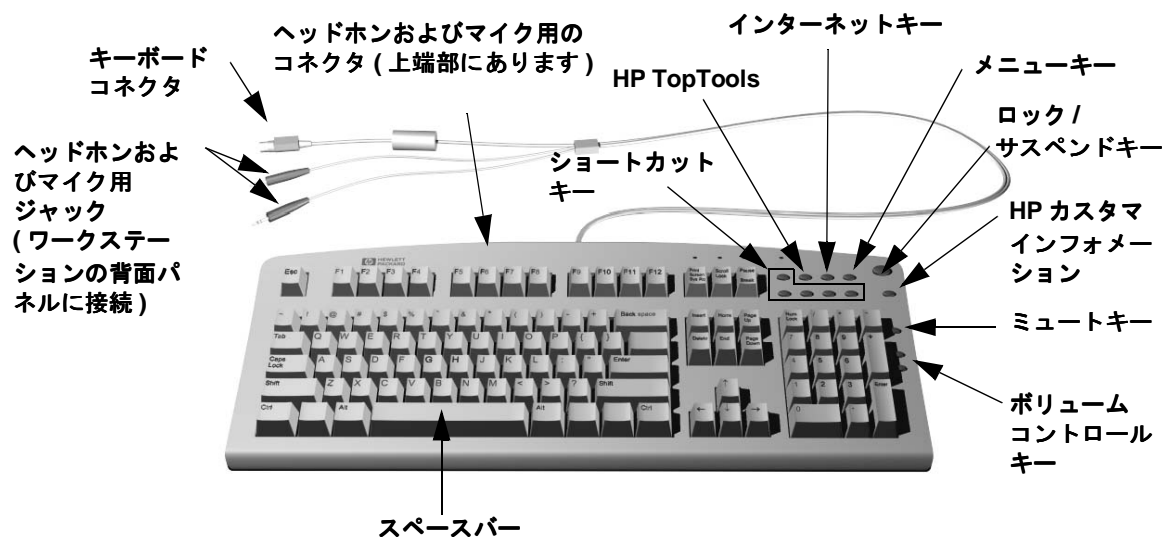
ヘッドホン (またはスピーカー) やマイクを直接キーボードに接続している場合は、キーボードのヘッドホンおよびマイク用のコネクタを背面パネルのジャックに接続する必要があります。詳細は、15 ページの「オーディオアクセサリの接続」を参照してください。

注記

ワークステーションの背面にある出力ラインジャックを使用すると、内蔵スピーカーは無効になります。キーボードのヘッドホンコネクタをワークステーション背面のジャックに接続した場合は、音声出力を得るためにはスピーカーをキーボードに接続する必要があります。

図 1-4

HP マルチメディアキーボード



- HP TopTools キーを押すと、PC 管理ツールの HP TopTools(ワークステーションにインストールしている場合) が起動されます。インストールされていない場合は、このショートカットキーには何も割り当てられません。メニューキーを押して設定することができます。
- インターネットキーを押すと、インターネットブラウザを起動します。
- メニューキーを押すと、HP マルチメディアキーボードの現在のソフトキー割り当て状況が表示されます。画面の指示に従って、個々のキーに割り当てられた動作を表示したり、キーの動作を変更または割り当てたりすることができます。ショートカットキーは、ユーザー定義の動作を割り当てるために用意されています。
- ロック / サスペンドキーを押すと、前面パネルをロックしたり、スクリーンセーバーを起動したりできます。ロック / サスペンドキーの動作を設定するには、メニューキーを押します。
- HP カスタマイズインフォメーションキーを押すと、HP カスタマイズインフォメーションの [html ページ](#) にアクセスできます。このページには、HP Web サイトへのリンクがあります。

ワークステーションのセットアップおよび使用方法

x4000 ワークステーションの使用方法

- ミュートキーとボリュームコントロールキーは、オーディオをミュートしたり（または、すでにミュートしている場合は元に戻したり）、音量をコントロールしたりするために使用します。
- ショートカットキーは、アプリケーションを起動したり、ドキュメントを開いたり、インターネットの **URL** を開いたりするために使用します。ショートカットキーに動作を割り当てるには、メニューキーを押して画面の指示に従います。

ワークステーションの構成の表示

Summary 画面には、ワークステーションの現在の構成 (**BIOS** のバージョン、**CPU** の種類、メモリモジュールのサイズ、およびインストールされている大容量記憶装置) の概要が表示されます。

初めてワークステーションを使用するとき、またはアクセサリの取り付けや取り外し、アップグレードを行った後は、必ずワークステーションの構成を確認してください。

構成を確認するには、以下の手順に従います。

1. 19 ページの「ワークステーションのシャットダウン」で説明した手順で、ワークステーションをシャットダウンします。
2. ワークステーションを再起動します。
3. 起動時のロゴがディスプレイに表示されたら、**[Esc]** を押します。これにより、**Summary** 画面が表示されます。**Summary** 画面は数秒しか表示されません。

ワークステーションの構成

Setup プログラムを使ってワークステーションを構成します。以下の操作ができます。

- 管理者およびユーザーパスワードの設定
- システムのブート順の変更
- 構成の問題の解決

後で参照できるように、システムのセットアップに加えた変更を書き留めておくことをお勧めします。

HP Setup プログラムの起動

Setup プログラムを起動する手順は次のとおりです。

1. ワークステーションを起動します。すでに起動済みの場合は再起動します。

2. 画面の下部に **F2 Setup** と表示されている間に、**[F2]** を押します。

[F2] を押すのが間に合わず、起動プロセスが続行された場合は、システムのブートが終わるのを待ってからワークステーションを再起動し、電源投入時の自己診断からもう一度実行しなければなりません。

ワークステーションの **Setup** プログラムの開始画面が表示されます。メインメニューには、インストールされている **BIOS** のバージョンや日付と時刻などのフィールドのリストが表示されます。

画面上部のバーには、メニューのリストがあります。左右の矢印キーを使用して、以下に説明するメニューのいずれかを選択します。

画面下部には、キーボードによるメニューの操作法が表示されます。

Main メニュー

Main メニューでは、以下の操作ができます。

- **BIOS** のバージョンの表示
- 構成データのリセット
- システム時刻の設定
- システム日付の設定

デフォルトでは、"**Reset Configuration Data**" は **[No]** に設定されています。構成をリセットすると、**BIOS** はメモリに保存されていたものを使用せずに、すべてのデバイスにリソースを割り当てます。

Advanced メニュー

Advanced メニューには、以下の項目を表示または構成できるサブメニューのリストがあります。

- プロセッサスピード
- チップセットの拡張機能
- **PCI** カード
- **AGP(Advanced Graphics Port)** ビデオカード
- 以下の内蔵機器の設定
 - フロッピーディスクドライブ コントローラ
 - **IDE** コントローラおよび取り付けられた **IDE** デバイス
 - **SCSI** コントローラ

ワークステーションのセットアップおよび使用方法

x4000 ワークステーションの使用方法

- 10/100BT ネットワークインタフェース
- シリアルポート (A および B) とパラレルポート
- PCI オーディオコントローラ

Security メニュー

Security メニューには、以下の操作ができるサブメニューのリストがあります。

- システム管理者パスワード、ユーザーパスワード、電源投入時パスワードの変更または設定 (25 ページの「パスワードの設定」参照)
- フロッピー、CD-ROM、および IDE ドライブからの権限のない起動の禁止
- フロッピードライブの権限のない使用の禁止
- プラグアンドプレイオペレーティングシステムが BIOS の設定を変更することの禁止
- ブートセクタへの権限のない変更の禁止

IPMI メニュー

このメニューを使用すると、BIOS にシステムイベントログをクリアさせることができます。

Boot メニュー

このメニューを使用して、BIOS がオペレーティングシステムの起動を試行するデバイスの順序を選択します。QuickBoot モードオプションを選択すると、ブート時のテストが一部省略されます。これにより、システムの起動に必要な時間が短縮されます。

Power メニュー

このメニューを使用すると、リモートパワーオンを有効にできます。AC 電源異常が発生した場合の動作モードを設定することもできます。

パスワードの設定

パスワードを設定して、ワークステーションにさまざまな保護レベルを設定することができます。

Setup プログラムの **Security** メニューを使用すると、以下のように設定することができます。

- 管理者は、**Setup** プログラムのすべての設定にアクセスして変更することができます。一般ユーザーは、**Main** メニューの中の特定の項目にアクセスして変更できるだけです。
- **Power-on Password** オプションを有効にして、ワークステーションの起動時に常にパスワードを要求することができます。

注記	ユーザーパスワードを設定する前に、管理者パスワードを設定しておく必要があります。
-----------	--

パスワードを設定する手順は次のとおりです。

1. ワークステーションを起動したら、メッセージの表示中に **[F2]** を押して **Setup** ユーティリティに入ります。
2. **[Security]** メニューを選択します。
3. **[Set Administrator Password]** または **[Set User Password]** を選択します。メッセージに応じてパスワードを入力し、確認のためにもう一度入力します。
4. **[Exit]** メニューを選択し、**[Exit Saving Changes]** を選択します。

パスワードの削除

パスワードを削除する手順は次のとおりです。

1. ワークステーションを起動し、メッセージの表示中に **[F2]** を押して **Setup** ユーティリティに入ります。
2. **[Security]** メニューを選択します。
3. **[Clear All Passwords]** を選択します。
4. **[Exit]** メニューを選択し、**[Exit Saving Changes]** を選択します。

電源管理の使用

電源管理を使用すると、ワークステーションが待機状態のときに動作速度を遅くして、ワークステーション全体の消費電力を低減できます。消費電力についての詳細は、HP の Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)) で提供している『*x4000 Technical Reference*』(英語) を参照してください。

オペレーティングシステムによって電源管理機能は異なります。Windows 2000 では、以下の 2 つの電源管理モードから選択できます。

- **スタンバイ**は、プロセッサが停止する低電力状態ですが、それ以外の部分には電源が入っています。ワークステーションをスタンバイモードから回復させる場合は、**RAM** の内容を復元する必要がないため、休止モードから回復する場合よりも速く戻ります。しかし、スタンバイモードではメモリの電源が切られないため、休止モードより多くの電力を消費します。
- **休止モード**(有効化されている場合) では、マシンは電源が切られているように見えます。ただし、休止状態になる前の状態を憶えているため、オペレーティングシステムを完全にブートすることなく回復できます。これは、休止状態になる前に、オペレーティングシステムが **RAM** の内容をハードディスクの特別な場所にコピーするからです。

休止モードをシャットダウンの選択肢に加えるには、コントロールパネルの電源オプションで休止モードを有効にしておく必要があります。

いずれのモードもワークステーションを回復するには、4 秒未満の間、電源ボタンを押します。

電源管理の設定を変更するには、次のようにします。

1. **[スタート] > [設定] > [コントロール パネル]** の順に選択します。
2. **[電源オプション]** をダブルクリックします。

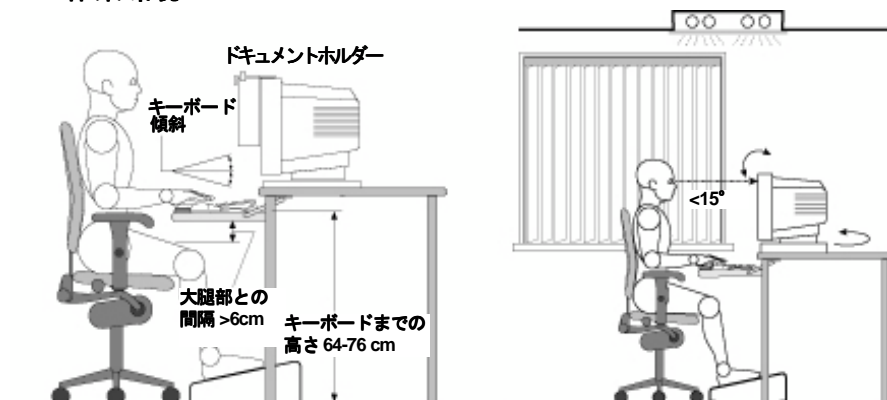
電源オプションの変更方法については、Windows 2000 または Windows XP のマニュアルを参照してください。

快適で安全な作業のために

作業環境の整備

以下のように快適で、生産性を向上させるような作業環境を整えることが重要です。

図 1-5 作業環境



- **作業面の高さ** - 作業面の高さが調整できるものを使用してください。まず、床に足がしっかり着くように椅子の高さを調整します。次に、キーボードなどの入力デバイスに手を置いたときに、前腕部が床と平行になるように作業面の高さを調節します。
- **椅子** - 使用する椅子は、高さで調節機能があり、座面に丸みがあり、脚部が安定している、快適な姿勢を保てるものを使用してください（たとえば、脚が 5 本でキャスター付き、背もたれが調節可能、左右に回転でき、調節可能なクッション付きのアームレストのあるもの）。
- **モニター** - 画面の上端が目の高さと同じか、やや下（最大 15°）になるようにモニターを配置します。

ワークステーションのセットアップおよび使用方法

快適で安全な作業のために

- **作業面上の配置** - HP ワークステーションシステムを構成する要素 (モニター、ドキュメントホルダー、キーボード、マウスなどの入力デバイス、およびヘッドホンやスピーカー) を、好みに合わせて調節してください。たとえば、次のように調節します。
 - キーボードを主に使用する場合は、キーボードは脇に置かず、正面に置きます。
 - 作業中にマウスなどのポインティングデバイスを頻繁に使用する場合は、そのデバイスを右腕または左腕の直前の位置に置きます。
 - マウスとキーボードの両方を使用する場合は、これらを同じ高さの作業面上に隣り合わせに配置します。
 - パームレストを使用する場合は、その高さがキーボードの前端部と同じものを使用してください。
 - 電話やメモなど、その他の備品もよく考慮して配置してください。

警告	マウスやキーボード、その他のデバイスの使用状況によっては、不快感を感じたり、人体に悪影響を及ぼしたりする危険が増加することがあります。これらのデバイスを適切に配置して、最も快適で安全に作業を行えるようにしてください。
-----------	---

作業時の姿勢

同じ姿勢で長時間座り続けるのは、快適なことではありません。人体への苦痛や悪影響を及ぼす危険を最小限にするためには、正しい姿勢を保つことが大切です。

- **頭部** - モニターを見るときは、頭部の傾きは **15°** 以内になるようにしてください。また、頭部を左右に傾けないようにします。
- **背中** - 作業面の方向に向いて座っているときは、まっすぐか、後方にやや傾けた状態で背中が椅子の背もたれによって支えられるようにします。
- **腕** - 腕と肘の力を抜いてリラックスし、上腕部は床に対して垂直か、やや傾けた (**15°** 以内) の状態にします。前腕部と手は、肘を **70 ~ 115 度** 曲げた状態で床とほぼ平行になるようにします。肘は脇からあまり離しません (胴からの角度は **20°** 以下)。
- **手、手首、前腕** - マウスやキーボードなどの入力デバイスを操作するときは、手、手首、前腕部をリラックスした自然な位置に保つようにしてください。たとえば、キーボードやマウスを使用するときは前腕部を机の上にゆったりとのせます。
- **脚** - 大腿部は水平またはやや前傾状態になるようにします。ひざから下は、大腿部に対してほぼ直角になるようにします。作業面と脚との間には十分な空間ができるようにしてください。

- 足 - 椅子を調節した後に床に足が楽に着かない場合は、フットレストを使用します。なるべく高さや角度が調節可能なものを使用してください。

その他の人間工学上の問題

- 時々スクリーンから目を離し、目の疲労をやわらげます。また、遠くのものに少しの間焦点を合わせ、一定の間隔でまばたきをして目の乾燥を防ぎます。さらに、定期的に目の検査を受け、眼鏡の度がコンピュータのモニターを見る作業に適した状態になるようにしてください。
- 時々姿勢を変えたり、体を動かしたりすることを忘れずに実行してください。ある姿勢を長時間保つのは自然な状態ではないため、ストレスが多くかかります。長時間にわたって作業しなければならないときは、短い時間でも頻繁に休憩するようにします。およそその目安として、1 時間ごとに 5 分から 10 分の休憩を取るとよいでしょう。短い休憩を多くとる方が、長い休憩を少なくとるよりも効果的です。長時間にわたって休憩を取らずに作業すると、それだけ人体に悪影響を及ぼしやすくなります。
- 時々別の作業を行うと、筋肉の硬直を防ぐのに役立ちます。キーボード入力、読み書き、ファイリング、作業環境内での移動などの作業を交互に行うと、リラックスした姿勢を保てます。手や腕、肩や首、背中の筋肉を時々ストレッチします。少なくとも 1 時間ごとに、作業を少し中断してストレッチを行ってください。
- 人間工学に基づいたデザインのものやアクセサリを使用すると、不快感が軽減されることがあります。たとえば、人間工学に基づいた自分専用の椅子、パームレスト、キーボードトレイ、代替入力デバイス、調整された眼鏡、ノングレア処理されたスクリーンなどです。詳細については、会社、医師、オフィス用品販売店、およびオンライン版の「*Working in Comfort*」(HP_INFO\WIC\language\envir.html) に記載された *Information Sources* などの情報源を利用して探してください。「Working in Comfort」は、当社の Web サイト (www.hp.com/ergo) でも提供しています。

ワークステーションのリサイクル

当社は、環境保護に対して積極的に取り組んでいます。ワークステーションは、最大限に環境に配慮した設計がなされています。

当社は、耐用期間が終了した旧型のワークステーションを製品回収制度を通じて回収し、リサイクルを行っています。こうして回収された機器は、当社のリサイクル施設の 1 つに送られます。可能な限り多くの部品が再利用され、残りはリサイクルされます。電池をはじめ、有害物質には特別の処置がとられています。

当社の製品回収制度の詳細については、最寄りの販売店または当社の営業所までお問い合わせください。

2 トラブルシューティング

概要

この章では、問題が発生した場合に、ワークステーションを立ち上げて稼働させるのに役立つ基本的な情報を以下の各項に分けて説明します。

- 33 ページの「ハードウェアの問題の解決」
- 37 ページの「診断 LED の意味」
- 40 ページの「ハードウェア問題への e-DiagTools の使用」
- 43 ページの「フルリカバリの実行」
- 45 ページの「HP x4000 のハードウェア特性」
- 46 ページの「HP カスタマケアセンターの電話番号」

より詳細な情報については、HP の Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport) にある『*x4000 Technical Reference Guide*』(英語) を参照してください。

問題が解決されない場合は、HP e-DiagTools(40 ページの「ハードウェア問題への e-DiagTools の使用」を参照) を実行し、カスタマサポートに連絡してください。

ハードウェアの問題の解決

ワークステーションが正常に起動しない

ディスプレイに何も表示されない

ワークステーションに電源を入れた後、ディスプレイに何も表示されない場合は、次のことを確認してください。

- ワークステーションとモニターの電源は入っていますか。(電源ランプが点灯しているはずです。)
- ワークステーションとモニターの電源コードはしっかりと接続されていますか。電源コードの接続については、16 ページの「電源コードの接続」を参照してください。
- コンセントは通電していますか。
- モニターがグラフィックカードのコネクタにしっかりと接続され、グラフィックカードがシステムボードにしっかりと差し込まれていますか。(グラフィックカードを挿入し直すには、ワークステーションのカバーを開ける必要があります。)
- モニターのコントラストと明るさが正しく設定されていますか。

POST エラーメッセージが表示される

電源投入時の自己診断 (POST) では、構成のエラーと変更が検出されます。いずれの場合も、コードと短い説明が表示されます。メッセージに応じて、選択肢がいくつか表示されます。

- メッセージを無視して処理を続けるには、**[F1]** を押します。
- **Setup** プログラムを実行してシステム構成の誤りを修正するには、**[F2]** を押します。
- メッセージの詳細を表示するには、**[Enter]** を押します。詳細が表示された後、元の POST 表示画面に戻ります。

キーボードが動作しない

キーボードが期待どおりに動作しない場合は、次のことを確認してください。

- すべてのキーボードケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。キーボードの接続については、13 ページの「コンポーネントの接続」を参照してください。

トラブルシューティング

ハードウェアの問題の解決

- キーボードが、ワークステーションの背面パネルのマウスコネクタではなく、キーボードコネクタに接続されていることを確認します。
- **USB** キーボードではなく、**PS/2** キーボードを使用していることを確認します。
- キーボードを、動作している装置に接続し、キーボード自体が故障していないことを確認します。

モニターが動作しない

ディスプレイに何も表示されない場合は、**33** ページの「ディスプレイに何も表示されない」を参照してください。

電源投入時の自己診断 (**POST**) の間はディスプレイが正常に動作し、**Windows** が起動すると何も表示されなくなる場合は、オペレーティングシステムのディスプレイの設定に使用中のモニターとの互換性がないと思われます。これを訂正するには、以下のようにワークステーションを **VGA** モードで再起動します。

- **Windows 2000** または **Windows XP**: メッセージに従って **[F8]** を押し、ワークステーションを **VGA** モードで起動します。

ワークステーションが立ち上がったら、コントロール パネル (**[スタート]>[設定]>[コントロール パネル]**) でディスプレイの設定を変更します。詳細は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

マウスが動作しない

マウスが期待どおりに動作しない場合は、次のことを確認してください。

- マウスケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。**13** ページの「コンポーネントの接続」を参照してください。
- マウスが、ワークステーションの背面パネルのキーボードコネクタではなく、マウスコネクタに接続されていることを確認します。
- 正しいドライバを使用していることを確認します。**HP** 拡張マウスのドライバは、すべての **Windows** プリインストールシステムに付属しており、**HP Workstation Recovery CD-ROM** にも入っています。しかし、ドライバは絶えずアップデートされています。最新のドライバは、**HP** の **Web サイト** (**www.hp.com/go/workstationsupport**(英語)、**www.jpn.hp.com/go/ws_support**(日本語)) からダウンロードできます。
- カーソルがスムーズに動かない場合は、けばのない乾いた布でマウスボールを掃除します。
- マウスを、動作している装置に接続し、マウス自体が故障していないことを確認します。

オーディオが動作しない

ワークステーションの背面にある出力ラインジャックを使用すると、内蔵スピーカーは無効になります。マルチメディアキーボードのオーディオ出力コネクタ（緑）をこのジャックに接続した場合は、オーディオ出力用のスピーカーまたはヘッドホンマルチメディアキーボードに接続する必要があります。スピーカーやヘッドホンを使用しない場合は、ワークステーションの背面からキーボードのオーディオ出力コネクタを外して、内蔵スピーカーを有効にします。

CD-RW が動作しない

CD-RW で CD を読み取ることはできても、CD へ書き込むことができない場合は、CD-RW のアプリケーションソフトウェアがインストールされていないと思われます。

ワークステーションに CD-RW を取り付ける場合は、16 ページの「CD-RW ドライブをご使用前に」で説明しているように、デバイスに書き込む前にドライブに付属しているソフトウェアをインストールする必要があります。

CD-ROM と DVD のドライバは、工場ワークステーションにプリインストールされていますが、CD-RW の 2 つのアプリケーションはインストールされていません。

パスワードを忘れてしまった

ユーザーパスワードの消去

ユーザーパスワードを忘れてしまっても、管理者パスワードを覚えている場合は、セットアップメニューを使ってユーザーパスワードを消去することができます。

ユーザーパスワードを消去するには、次のようにします。

1. 22 ページの「HP Setup プログラムの起動」で説明した手順で、**Setup** プログラムを起動します。
2. メッセージに応じて、管理者パスワードを入力します。
3. **Security** メニューに移動します。
4. **[Clear all Passwords]** を選択します。
5. 必要な場合は、新しいユーザーパスワードを入力し、確認します。
6. **[ESC]** を押して、**Security** メニューを出ます。
7. **[Exit Saving Changes]** を選択して、変更を保存します。

管理者パスワードの消去

管理者パスワードを消去するには、次のようにします。

1. ワークステーションの電源を切り、カバーを取り外します。ワークステーションのカバーの外し方については、Web サイト www.hp.com/go/workstationsupport にある『*HP x4000 Technical Reference*』（英語）を参照してください。
2. システムボードのスイッチブロックで、スイッチ **1** を **[ON]** にセットします。
3. ワークステーションのカバーを取り付けます。
4. ワークステーションの電源を入れ、メッセージが表示されたら、**[ESC]** を押して **Summary** ページを表示します。
5. パスワードが消去されたことを伝えるメッセージが表示されたら、ワークステーションの電源を切り、カバーを取り外します。
6. システムボードのスイッチブロックで、スイッチ **1** を **[OFF]** にセットします。
7. ワークステーションのカバーを取り付けます。
8. 新しいパスワードを設定する場合は、**25** ページの「パスワードの設定」に示す手順に従ってください。

診断 LED の意味

ワークステーションの前面パネルにある診断 LED を見れば、ワークステーションの問題を特定しやすくなります。

- システムの起動中は、4 つの LED はすべて緑色です。
- 起動中に問題が検出されない場合、4 つの LED はすべて消えます。
- 問題が検出されると、1 つ以上の LED の色が変わります。

エラーが検出された場合 (1 つ以上の LED の色が変わった場合) は、38 ページの表 2-1 にある色の組み合わせの簡易リストを参照してください。これらは、最初にシステムをセットアップするときに現れる可能性のある組み合わせです。完全なリストと詳細な説明については、www.hp.com/go/workstationsupport にある『*x4000 Technical Reference Guide*』(英語)を参照してください。

LED のパターンは次のように示されています。

- R = 赤
- Y = 黄
- G = 緑
- ● = 消灯

LED パターンが BIOS がリカバリモード (YR ●●) にあるか、BIOS のリカバリが完了 (GR ●●) したことを示していなければ、以下の操作を実行してください。

1. システム BIOS とファームウェアを書き換えます。完全な手順と BIOS およびファームウェアの最新バージョンについては、HP の Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) を参照してください。
2. 38 ページの表 2-1 に示された解決策を試します。

注記 LED パターンが 38 ページの表 2-1 に記載されていない場合、問題は BIOS またはファームウェアの異常によるものと考えられます。他の解決策を試す前に、必ず BIOS とファームウェアを書き換えてください。

BIOS とファームウェアを書き換え、38 ページの表 2-1 の解決策を試しても問題が残る場合は、www.hp.com/go/workstationsupport にある『*HP x4000 Workstation Technical Reference*』（英語）を参照するか、カスタマサポートに連絡してください。

表 2-1 診断 LED のパターン (R = 赤、Y = 黄、G = 緑、● = 消灯)

パターン	エラー	解決法
RRYY	致命的な内部プロセッサエラーです (#IERR)。	再起動します。偶発的なエラーで、ハードウェアによるものでなければ、エラーは再現されないはずです。
RYY ●	メモリが検出されません。	RIMM を挿入するか、挿入し直します。 メモリ拡張カードを挿入し直します。
RYYY	メモリに異常が発生しています。	メモリ拡張カードを挿入し直します。 RIMM を挿入し直します。
YR ●●	BIOS が障害リカバリモードにあります。	BIOS のリカバリ処理が完了するまで待ちます (完了すると、LED パターンが GR ●●になります)。 GR ●●パターンの解決手順に従います。
YYR ●	3.3v 回路のエラーです。	I/O カードを挿入し直します。
GR ●●	BIOS のリカバリが完了しました。	システムボードのシステムスイッチ 2 を On にセットしている場合は、Off にセットしてシステムを再起動します。
GYR ●	1.8V 電源回路のエラーです。	メモリ拡張カードを挿入し直します。
GGRY	バッテリー電圧のエラーです。バッテリーの寿命かもしれません。	バッテリーを挿入し直します。 バッテリーを交換します。

表 2-1 診断 LED のパターン (R = 赤、Y = 黄、G = 緑、● = 消灯) (続き)

パターン	エラー	解決法
● YRY	12V 電源回路のエラーです。	I/O カードを挿入し直します。
● YRG	2.5 RDRAM 電源回路のエラーです。	メモリ拡張カードを挿入し直します。 メモリ拡張カードに独立した変電圧モジュールがある場合は、モジュールを挿入し直します。

ハードウェア問題への e-DiagTools の使用

注記 保証サービスについて当社に問い合わせる前に、**e-DiagTools** を実行してください。**e-DiagTools** を使用すると、サポート担当者が必要とする情報が得られます。

e-DiagTools を使用して、HP ワークステーションのハードウェア関連の問題を診断します。ワークステーションの前面パネルにある診断 LED が点灯している場合は、**e-DiagTools** を使用する前に、37 ページの「診断 LED の意味」を読んでください。

このユーティリティについての詳細は、www.hp.com/go/workstationsupport にある『*HP x4000 Workstation Technical Reference*』（英語）を参照してください。

HP **e-DiagTools** は、ハードディスクドライブにプリインストールされています。ハードディスクには、ハードウェア診断ユーティリティ **HP e-DiagTools** が含まれるハードウェア診断用のパーティションがあります。このパーティションは削除しないでください。

ハードディスクドライブから **e-DiagTools** を起動できない場合に備えて、ワークステーション付属の *HP Workstation Recovery CD-ROM* にも、**e-DiagTools** のコピーが入っています。

ハードディスク上のユーティリティパーティションからの e-DiagTools の起動 (推奨)

注記 この方法は、ハードディスクドライブの診断用パーティションが削除されていない場合にのみ実行できます。

1. ワークステーションを起動または再起動します。
2. 「Press F10 to enter HP Utility Partition or any other key to proceed.」というメッセージが表示されたら、ファンクションキーの **[F10]** を押します。
3. ハードウェア診断の **e-DiagTools** を実行するオプションを選択します。

CD-ROM からの e-DiagTools の起動

この方法は、何らかの理由でハードディスクドライブのパーティションから **e-DiagTools** を起動できないときに使用します。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ワークステーションを再起動します。ワークステーションは、ハードディスクではなく **CD-ROM** からブートされます。
3. ハードウェア診断を実行するオプションを選択します。

注記

CD-ROM ドライブからブートできない場合は、ワークステーションを再起動して **[F12]** を押し、システムのブート順序を変更します。ブート順序は、**Setup** ユーティリティから変更することもできます (22 ページの「ワークステーションの構成」参照)。ブートデバイスの設定を確認し、ワークステーションが **CD-ROM** からブートできるように設定してください。

HP リカバリ CD-ROM

HP リカバリ CD は、コンピュータを工場出荷時の構成に復元したり、ドライバやその他の付属するソフトウェアコンポーネントの再インストールを行うときに使用します。これらのドライバおよびソフトウェアユーティリティは、マニュアルや操作ガイドを含んでおり、プリインストールされたソフトウェアを復元できます。HP Workstation Recovery CD と HP Workstations Drivers and Diagnostics CD の 2 枚の CD があります。

利用可能な機能

HP リカバリ CD では、以下の機能を提供します。

- Windows 2000 または Windows XP のインストール：
HP ワークステーションを工場出荷時の元の状態に復元します。

警告	HP リカバリ CD を使用すると、ハードディスクの内容が完全に消去されます。リカバリ CD を使用する前に、必ずデータおよび作成したファイルのバックアップを行ってください。
-----------	---

リカバリを実行する前に

アップグレード、ダウングレードおよびリカバリを行う前に各機能のチェックリストを作成してください。*Setup* プログラムへの変更を行うには、管理者パスワードが必要になります。変更した内容は、書きとめておいてください。

- ワークステーションのモデルが HP Workstation Recovery CD-ROM と HP Workstations Drivers and Diagnostics CD-ROM に適合している必要があります (HP Workstation Recovery CD-ROM はワークステーションの特定のモデルに対応付けられています)。リカバリを実行するには両方の CD が必要です。
- すべてのデータファイルをバックアップし、必要に応じてソフトウェアアプリケーションもバックアップします。
- リカバリを行う前に最新バージョンの BIOS にアップグレードしておくことをお勧めします。

- **Setup** プログラムの設定 : BIOS レベルのパスワードを消去します。Security メニューで、**Hardware Protection** のすべての項目を「**Enabled**」または「**Unlocked**」(設定可能な場合)に設定します。また、**CD-ROM** からのブートが有効になっていることも確認します。**Boot** メニューの **Boot Device Priority List** で、ハードディスクドライブではなく、**CD-ROM** ドライブからのブートが優先されていることを確認してください。
- **Microsoft** の **Certificate of Authenticity** が必要です (**Certificate of Authenticity** はワークステーションのカバーに貼付されているラベルです)。

注記

Windows NT 4.0 のモデルをお使いの場合は、**4GB** のメモリが取り付けられているとインストールできません。スロット **3**、**4** (シャーシカバーのメモリ取り付け図を参照) から **4** 枚の **RIMM** を取り外してください。**Windows NT 4.0** をロードした後で、このメモリを挿入し直すことができます。

フルリカバリの実行

ハードウェアの構成などによって異なりますが、システムを完全にリカバリする際の所要時間は、**30 分**から**2 時間**程度です。

警告

以下の手順を実行すると、ハードディスクドライブの内容がすべて消去されます。必要に応じてすべてのデータファイル、およびソフトウェアアプリケーションのバックアップを実行してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンし、ワークステーションの電源をオフにします。
2. ワークステーションを工場出荷時の構成に復元するため、ワークステーションが到着してから追加した非標準コンポーネントをすべて削除します。
3. リカバリ **CD-ROM** を **CD-ROM** ドライブに挿入し、ワークステーションを起動します。
4. **[F8]** キーを押し、最初のブートデバイスとして **CD-ROM** を選択します。
5. コンピュータが **CD-ROM** から起動し、**DOS** 形式のメニューが表示されます。メニューから適切なものを選択し、**HP** ワークステーションを出荷時の状態に復元します。
6. メッセージが表示されたら、リカバリ **CD** を **CD-ROM** ドライブから取り出します。
7. **HP Workstations Drivers and Diagnostics CD** を **CD-ROM** ドライブに挿入します。
8. **[Y]** キーを押して操作を続行します。

トラブルシューティング

HP リカバリ CD-ROM

9. メッセージが表示されたら、**HP Workstations Drivers and Diagnostics CD** を取り出し、ワークステーションを再起動してください。インストールプロセスが続行されます。

HP x4000 のハードウェア特性

注記

動作時の温度および湿度の範囲は、インストールされている大容量記憶装置によって異なります。湿度レベルが高いと、ディスクドライブの動作不良の原因となることがあります。湿度が低いと、静電気による問題が増加したり、ディスク表面が過度に磨耗したりすることがあります。

前面パネルの電源ボタンでワークステーションの電源を切ると、消費電力は **10 W** 以下に下がりますが、ゼロにはなりません。コンピュータの電源をオフにしたときの消費電力をゼロにするには、ワークステーションの電源プラグをコンセントから抜くか、スイッチ付きの配電ユニットを使用します。

表 2-2 x4000 のハードウェア特性

重量	最小構成 : 18.24kg(40.20 ポンド) 最大構成 : 20.60kg(45.40 ポンド)
寸法	幅 : 20.90cm(8.22 インチ) 高さ : 48.30cm(19.02 インチ) 奥行き : 47.3cm(18.62 インチ)
床面積	988.57 平方センチ (153.06 平方インチ)
電源装置 入力電源電圧 入力電源周波数 定格入力電力 最大平均入力電力 最大出力電力	90 ~ 250VAC 50/60Hz 365W 500W 465W
保存湿度	90%(相対湿度、結露なきこと)
動作湿度	15 ~ 80%(相対湿度、結露なきこと)
保存温度	-40 °C (-40 °F) ~ 70 °C (158 °F)
動作温度	5 °C (41 °F) ~ 35 °C (95 °F)
高度	動作時 : 3100m(0 ~ 10,000 フィート) 非動作時 : 4500m(0 ~ 15,000 フィート)

HP カスタマケアセンターの電話番号

HP カスタマケアセンターでは、当社製品についての問題を解決するためのサポートを行っております。また、必要に応じて適切なサービス手続きを開始します。米国では、電話サポートは **24 時間、365 日** ご利用いただけます。それ以外の地域では、通常の営業時間帯にご利用いただけます。HP カスタマケアセンターの電話番号は下記の URL でご確認ください。

<http://www.hp.com/cpsso-support/guide/psd/expectations.html> (英語)

http://www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)

A 保証および規制に関する情報

Declaration of Conformity according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014	
Manufacturer:	Hewlett-Packard Company 3404 East Harmony Rd. Fort Collins, CO 80528 USA
Declares that the:	
Product Name:	HP Workstation
Model Numbers:	A6068A
Base Product Numbers:	A1280A
Product Options:	all
conforms to the following specifications:	
Safety.	IEC 950:1991+A1+A2+A3+A4/EN 60950:1992+A1+A2+A3+A4 IEC 60825-1:1993/EN60825-1:1994+A11 Class 1 for LEDs USA 21CFR Subpart J – for FC Laser module China GB4943-1995 Russia GOST R 50377-92
EMC.	CISPR 22: 1997 / EN 55022: 1998 Class A CISPR 24: 1997 / EN 55024: 1998 IEC 1000-3-2:1994 / EN 61000-3-2:1998 US FCC Part 15, Class A Australia/New Zealand AS/NZS 2064:1997, AS/NZS 3548:1995 China GB9254-1999 Japan VCCI Class A Russia GOST R 29216-94 Taiwan CNS13438:1997 Class A
and is certified by:	UL Listed to UL1950, 2nd edition, File E146385 cUL Listed to CSA 22.2 No. 950-M93 T_V Certified to EN60950 2nd edition with A1+A2+A3+A4 HP Fort Collins CCQD HTC
supplementary information:	
The product herewith complies with the requirements of the following Directives and carries the CE marking accordingly:	
<ul style="list-style-type: none"> - the EMC directive 89/336/EEC and 92/31/EEC and 93/68/EEC - the Low Voltage Directive 73/23/EEC and 93/68/EEC 	
This product was tested in a typical Hewlett-Packard workstation configuration.	
Original signed by: Ruth Lutes, Site Quality Manager	
For Compliance Information ONLY, contact:	
European Contact: Your local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE Standards Europe, Herrenberger Strasse 130 Boeblingen (FAX: +49-7031-14-3143)	
Americas Contact: Hewlett-Packard, Fort Collins Site Quality Manager, Mail Stop 64, 3404 E. Harmony Road, Fort Collins, CO 80528, U.S.A.	

規制についての情報

Federal Communications Commission (FCC) Radio Frequency Interference Statement (for USA only)

注記

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules and the Canadian Department of Communications. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Hewlett-Packard's FCC Compliance Tests were conducted with HP-supported peripheral devices and HP shielded cables, such as those you receive with your system. Changes or modifications not expressly approved by Hewlett-Packard could void the user's authority to operate the equipment.

Notice for Canada

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la Class A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Safety Warning for the USA and Canada

If the power cord is not supplied with the computer, select the proper power cord according to your local national electric code.

USA: use a UL listed type SVT detachable power cord.

Canada: use a CSA certified detachable power cord.

For your safety, never remove the PC's cover without first removing the power cord and any connection to a telecommunication network. Always replace the cover before switching on again.

保証および規制に関する情報

規制についての情報

Si le cordon secteur n'est pas livré avec votre ordinateur, utiliser un cordon secteur en accord avec votre code électrique national.

USA: utiliser un cordon secteur "UL listed," de type SVT.

Canada: utiliser un cordon secteur certifié CSA.

Pour votre sécurité, ne jamais retirer le capot de l'ordinateur sans avoir préalablement débranché le cordon secteur et toute connection à un réseau de télécommunication. N'oubliez pas de replacer le capot avant de rebrancher le cordon secteur.

Notice for the Netherlands

Bij dit apparaat zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet U ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

Notice for Germany

Wenn die Batterie nicht korrekt eingebaut wird, besteht Explosionsgefahr. Zu ihrer eigenen Sicherheit sollten Sie nicht versuchen, die Batterie wiederaufzuladen, zu zerlegen oder die alte Batterie zu verbrennen. Tauschen Sie die Batterie nur gegen den gleichen oder ähnlichen Typ aus, der vom Hersteller empfohlen wird. Bei der in diesem PC integrierten Batterie handelt es sich um eine Lithium-Batterie, die keine Schwermetalle enthält. Batterien und Akkumulatoren gehören nicht in den Hausmüll. Sie werden vom Hersteller, Händler oder deren Beauftragten kostenlos zurückgenommen, um sie einer Verwertung bzw. Entsorgung zuzuführen.

Noise Declaration for Germany

Lärmangabe nach Maschinenlärmverordnung - 3 GSGV (Deutschland) LpA < 70 db am Arbeitsplatz normaler Betrieb nach EN27779: 11.92.

Notice for Japan (Class A)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Notice for Korea

사용시 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장애감정을 받은
기기이오니, 만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입
한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

Notice for Taiwan

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的
環境中使用時，可能會造成射頻
干擾，在這種情況下，使用者會
被要求採取某些適當的對策。

HP ハードウェア保証

重要：これはハードウェア製品の保証書です。十分注意してよくお読みください。

保証条件は、国によって異なる場合があります。詳細は、正規の **HP** 販売店または当社営業所およびサービスセンタまでお問い合わせください。

当社製品には、新品と同じ性能の再生部品が使用されていることがあります。また、一時的使用を条件に、再生部品を使用することがあります。

システムプロセッサユニットへの外付けの当社製品（外部記憶サブシステム、ディスプレイ、プリンタ、および他の周辺装置）は、その製品に適用される保証の対象となります。当社製ソフトウェアは、**HP** ソフトウェア製品限定保証の対象となります。

豪州およびニュージーランドのお客様との取り引きについて：本保証書記載の保証条件は、法的に認められる場合を除き、本製品の販売に適用される法律上の強制的権利を除外、制限、または修正するものではなく、この権利に追加されるものです。

3 年間限定ハードウェア保証

ヒューレット・パカード社（当社）は、お客様が製品を受領したときから **3 年間**、素材および製造上の瑕疵に対してハードウェア製品を保証します。

3 年間の保証には、ご使用 **1 年目**の出張サービス（部品および作業費は無料）、および **2 年目**と **3 年目**の使用期間中の当社サービスセンターまたは、正規の **HP** コンピュータ取り扱い修理センターによる部品サービスが含まれます。

上記で定めた瑕疵の通知を当社が保証期間内に受領した場合は、当社はその裁量により、瑕疵であると判断した製品を修理または交換するものとします。

当社が妥当な期間内に製品の修理または交換が実行できない場合は、その製品の返却時に購入代金をお客様に返却いたします。

システムプロセッサユニット、キーボード、マウス、およびシステムプロセッサユニット内部の当社製アクセサリ（ビデオアダプタ、大容量記憶装置、およびインタフェースコントローラなど）が本保証の対象となります。

本保証は、特定の条件（最寄りの当社営業所にお問い合わせください）に基づき、当社または正規の **HP** コンピュータ販売店から購入された製品に世界各国にわたって適用されます。元の購入者が使用するために購入した製品、または元の購入者がシステムの付属部品として組み込んだ製品もこの保証の対象になります。使用国で製品の保証が有効な場合、その製品を使用国で購入した場合と同様のサービスが提供されますが、その製品が使用国で動作するように設計されている

場合に限られます。使用国で、その製品を通常当社が販売していない場合は、購入国にご返送後、サービスを受けていただくことになります。出張サービスを行うまでの時間、および部品が届くまでの時間は、現地で部品が調達できない場合は標準的な条件とは異なることがあります。

保証限度

上記の保証は、誤用、不正な変更、製品の環境仕様外での動作もしくは保管、輸送時の損傷、不適切な保守作業、または他社のソフトウェア、アクセサリ、媒体、備品、消耗品、もしくはこの製品での使用を目的として設計されていないものから生じた瑕疵には適用されないものとします。

バンドルまたはプリロードされたソフトウェアをワークステーションに再ロードすることは、当社の保証対象ではありません。

当社は、本製品に関し、書面または口頭を問わず他の保証は一切行いません。商品性または適合性の黙示保証は、本文書による保証の 3 年間に限定されます。国または州によっては黙示保証の期間制限が認められていませんので、上記の制限ないし免責は適用されない場合があります。

この保証は特定の法的権利を付与しますが、国や州によっては他の権利が与えられる場合があります。

責任および補償の制限

上記の補償は、お客様の独占的かつ排他的補償です。当社は、いかなる場合においても直接的、間接的、特別、付随的、または派生的損害（失われた収益を含む）に対し、保証、契約、不法行為、または他のいかなる法理論を問わず、その責は一切負わないものとします。

上記の責任制限は、この取り決めに従って販売された当社製品が、瑕疵があり、人身傷害、死亡、財産損害の直接的な原因であると正当な管轄権を有する裁判所によって裁決された場合には適用されません。ただし当社の財産損害責任は、**\$50,000** または損害を引き起こした製品の購入価格を超えないことを条件とします。

国または州によっては付随的または派生的損害（失われた収益を含みます）に対する免責または制限が認められないため、上述の制限または免責は適用されない場合があります。

出張保証サービスの受け方

出張修理保証サービスを受ける場合は、当社営業所およびサービスオフィス、修理受付サポート窓口（電話番号：0120-742-594）、または HP コンピュータ正規販売代理店までお問い合わせください。その際には、購入日を証明できるものをご提示ください。

保証対象品は、システムプロセッサユニット、キーボード、マウス、およびシステムプロセッサユニット内の当社製アクセサリ（ビデオアダプタ、大容量記憶装置、インタフェースコントローラなど）です。

保証および規制に関する情報

HP ハードウェア保証

保証期間中は、お客様が取替可能なコンポーネント（マウス、キーボードなど）は、お客様との合意のもとで部品を発送いたします。この場合、発送費用は当社が負担いたします。必要に応じてコンポーネントの交換について電話によるサポートをいたします。また、当社が返送をお願いする故障部品の送付に係る費用についても当社が負担いたします。

システムプロセッサユニットの内部外部を問わず、不具合の原因が当社以外の製品に起因することが判明した場合は、このサービスに係った費用（サービスエンジニア派遣費、作業費など）を請求させていただきます。

本製品の出張サービスは、特定の地域では制限があるか、不可能な場合があります。地理的条件、道路状況、または適切な公的交通機関がなく通常の移動が不可能な地域では、別途契約あるいは追加費用をその都度ご相談させていただきます。

当社出張サービスの応答時間は、当社サービスオフィスから **160km** 圏内では通常翌営業日です（当社休日を除きます）。**320km** 圏内では翌々営業日、**480km** 圏内では翌々々営業日です。**480km** を超える地域については、ご相談させていただきます。各国のカスタマサポートについての情報は、当社営業所およびサービスオフィスにお問い合わせください。

取り扱い店または販売代理店のエリア制限および応答時間は、加盟取り扱い店または販売代理店によって規定されています。

時間外または休日のサービス、通常の応答時間より早い緊急修理サービス、または出張サービス対象地域外でのサービスに関するサービス契約は、特別対応サービス料金を頂くことにより提供可能な場合があります。詳しくは、当社、正規取り扱い店、または正規販売代理店にご相談ください。

お客様の責任

出張サービス訪問または交換用部品の発送の前に、当社提供の診断プログラムをお客様に実行していただく場合があります。

製品に最新バージョンの **BIOS** を搭載していることはお客様の側でご確認ください。当社営業およびサービスセンターまたは正規の **HP** サポートプロバイダの担当者が伺う前に、最新バージョンの **BIOS** のインストールをお願いする場合があります。

ドライバや **BIOS** のバージョンアップなど、製品のアップグレードは本保証の適用範囲には含まれません。新しいバージョンにつきましては、当社または販売代理店のアドバイスに従って、ダウンロードにより入手いただけます。アップグレードに技術者の支援が必要な場合には、販売代理店または当社にご相談ください。

お客様の所有物および秘密情報の安全確保、およびファイル、データ、プログラムが消滅または変更された場合に復元するための対策は、お客様側の責任で行ってください。

製品にアクセスできるようにし、製品からの距離が適度な場所に十分な作業スペースと設備を用意してください。製品の保守に必要な情報と設備をご提供いただく必要があります。また、通常の運用時に使用される備品や消耗品もご提供いただくようお願いいたします。

お客様の代理人には、常に立ち会っていただく必要があります。製品の使用環境が修理担当者の健康を害する危険がある場合は、その旨を修理担当者にお伝えください。当社またはサービス取り扱い店の直接の監督のもと、お客様側の保守担当者に製品の保守を行っていただく場合があります。

部品保証サービスの受け方

部品保証サービスが適用されるときは、交換用部品の発送前に当社提供の診断プログラムをお客様に実行していただく場合があります。その際には、購入したことを証明できるものをご提示ください。

当社が要求した場合は瑕疵のある部品を返却しなければなりません。この場合は、当社部品サービスセンターへの部品の返却にかかる費用は当社が負担いたします。

電話サポートサービス

ワークステーションの無料電話サポートは、購入日から 1 年間ご利用いただけます。このサービスは、HP ワークステーションの基本的構成およびセットアップ、およびバンドルまたはプリロードされているオペレーティングシステムに対する技術サポートを提供するものです。

当社では、ネットワークサーバーとして構成されたワークステーションに対する電話サポートは行っておりません。

HP ソフトウェア製品限定保証

この HP ソフトウェア製品限定保証では、当社製品の一部として提供されるオペレーティングシステムソフトウェアを含め、すべての当社ソフトウェア製品を対象とします。当社の保証条件と当社以外の保証条件が重複する場合は、当社の保証条件が優先するものとします。

ソフトウェア

HP ソフトウェア製品の保証

当社は、すべてのファイルが正しくインストールされた場合において、プリインストールされたすべての当社製ソフトウェア製品がプログラミング命令を実行することを購入日から **90 日間**保証します。当社は、ソフトウェアが中断しないこと、またはエラーがないことは保証しません。保証期間中にソフトウェア製品がプログラミング命令を実行しない場合は、当社が提供するソフトウェアと交換していただくか、製品、すべてのソフトウェア、インストールマニュアルを返却し、リモートサポート（電話または電子メール）を解除していただいた上で購入代金を返却いたします。

他社製ソフトウェア製品（提供されている場合）について：他社製ソフトウェア製品のすべては、ソフトウェアベンダによって保証されます。当社では保証しません。

オペレーティングシステム

マイクロソフト社製オペレーティングシステムおよびソフトウェア

当社は、購入日から **1 年間**に限り、プリインストールされたバージョンのオペレーティングシステムおよびソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを保証します。当社は、オペレーティングシステムの機能、ソフトウェアが中断しないこと、およびソフトウェアにエラーがないことは保証しません。保証期間内において、インストールと構成の両方またはいずれかの作業中にソフトウェアがプログラミング命令の実行に失敗した場合は、当社は再インストールおよび構成を行うためのリモートサポート（電話および電子メール）を提供いたします。

その他の他社製オペレーティングシステムについて：他社製オペレーティングシステムは、オペレーティングシステムベンダによって保証されます。当社では保証しません。

リムーバブルメディア（提供されている場合）

当社は、リムーバブルメディアが提供されている場合、通常の使用状態において材料または製造上の瑕疵なくこのメディアに記録できることを購入日から **90 日間**保証します。保証期間中に瑕疵があることが判明した場合は、当社が提供するメディアと交換していただくか、メディアを返品し、非リムーバブルメディアに複製したソフトウェアをすべて破棄していただいた上で購入代金を返却いたします。

当社サービス手続き

保証請求の通知：保証請求は、保証期間終了後 30 日以内に書面にて当社まで通知してください。

保証の制限：当社は、書面または口頭を問わず、本製品に関して他の明示的保証を一切行いません。商品性または特定目的に対する適合性の黙示保証は、本書記載の保証の 90 日間に限定されます。誤用、不正な変更、不適切な保守作業、または当社以外の機器とともに不正に使用して生じた瑕疵の場合は、当社はその責を負いません。

責任および補償の制限：上記の補償は、お客様の独占的かつ排他的補償です。当社は、いかなる場合においても直接的、間接的、特別、付随的、または派生的損害（失われた収益を含む）に対し、保証、契約、不法行為、または他のいかなる法理論を問わず、その責は一切負わないものとします。

本保証は、お客様の制定法上の権利を侵害するものではありません。

保証サービスの受け方：保証サービスは、最寄りの当社営業所または当社 Web サイトに示されている他の場所で受けることができます。

HP ソフトウェアライセンス契約

当社製品には、ソフトウェアプログラムが含まれています。

本製品を使用する前にライセンス契約および限定保証書をよくお読み下さい。ライセンス契約のすべての条件に同意する場合のみ、ソフトウェアの権利が提供されます。製品の使用をもって条件に同意したものとします。ライセンス契約の条件に同意しない場合は、速やかにソフトウェアをハードディスクドライブから削除し、マスターディスクを破棄するか、完全な状態の当社製品およびソフトウェアを返却して購入代金の返却を受けてください。構成の使用をもってライセンスの条件に同意したものとします。

以下に別途記載されている場合を除き、この HP ソフトウェア製品ライセンス契約は、当社コンピュータ製品の一部として提供されるすべてのソフトウェアの使用に適用されるものとし、オンラインまたは当社製品の梱包内の資料にある他社製ソフトウェアライセンスの条件は破棄されるものとします。

マイクロソフト社のオペレーティングシステムおよびソフトウェアアプリケーションは、マイクロソフト社のドキュメンテーションに記載されたマイクロソフトライセンス契約、またはマイクロソフトソフトウェア製品の実行時に画面に表示されるマイクロソフトライセンス契約に基づいてライセンスされています。当社以外のソフトウェアおよびオペレーティングシステムは、適切なベンダによってライセンスされています。以下のライセンス条件は、当社ソフトウェア製品の使用に適用されます。

使用：ソフトウェアは、1 台の当社製品でのみ使用できます。ソフトウェアをネットワーク上で使用すること、または複数の当社製品で使用することはできません。法律で許可されている場合を除き、逆アセンブルおよび逆コンパイルは禁止されています。

保証および規制に関する情報

HP ソフトウェア製品限定保証

複製および改作：ソフトウェアの複製および改作は、(a) 保管目的 (b) 当社製品でのソフトウェアの使用上複製または改作が必要不可欠な手順である場合は、複製または改作物を他の目的で使わない限り、許可されます。

所有権：物理的なメディアの所有権を除き、ソフトウェアの権利または所有権を持たないことに同意します。ソフトウェアには著作権が設定されており、著作権法に基づいて保護されていることを認めるとともに同意します。また、ソフトウェアがソフトウェアの著作権表示に記されているソフトウェア会社によって開発されたものであり、ソフトウェア会社は著作権侵害または契約違反について責任を問う権限を有することを認め、同意します。

製品のリカバリ CD-ROM：当社製品に製品のリカバリ CD-ROM が付属する場合、(i) 製品のリカバリ CD-ROM とサポートユーティリティソフトウェアの両方またはいずれかは、製品のリカバリ CD-ROM が本来付属した当社製品のハードディスクを復元する目的にのみ使用することができます。(ii) 製品のリカバリ CD-ROM に付属するマイクロソフト社のオペレーティングシステムの使用には、マイクロソフトライセンス契約が適用されるものとします。

ソフトウェアの権利の譲渡：ソフトウェアの権利は、すべての権利の譲渡の一部とする場合、および本ライセンス契約の条件に第三者が拘束されることの事前合意を得た場合のみ、第三者に譲渡することができます。譲渡するときには、ソフトウェアの権利が消滅すること、およびソフトウェアの複製および改作物を破棄または第三者に引き渡すことに同意しなければなりません。

サブライセンスおよび配布：当社の書面による事前承諾なく、物理的メディアまたは遠隔通信によってソフトウェアのリース、サブライセンス、またはソフトウェアの複製や改作物の配布は実行できません。

契約の終了：当社は、お客様が契約条件に従わない場合、契約の履行を要求したにもかかわらず、その通知から 30 日以内に履行しなかったときには、ソフトウェアライセンスを終了することができます。

アップデートおよびアップグレード：お客様は、別のサポート契約に基づいて当社から利用可能なアップデートおよびアップグレードはソフトウェアに付属しないことに同意します。

輸出条項米国輸出：管理法または他の適用法に違反してソフトウェア、複製、または改作物の輸出または再輸出を行わないことに同意する必要があります。

米国政府の制限権利：使用、複製、開示は当社の標準商業ライセンス条項に準拠し、国防総省以外の省庁および米国政府の機関に対するヒューレット・パッカード社の権利 (3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304 U.S.A. Copyright (c) 2002 Hewlett-Packard Company) は FAR 52.227-19(c)(1,2) (1987 年 6 月) に示されています。

著作権表示：お客様はさらに、DFARS 252-227-7014 (1995 年 6 月) で定義されている「商業用コンピュータソフトウェア」、FAR 2.101(a) で定義されている「商業用品目」、または FAR 52.227-19(または、それに相当する機関条例ないし契約条項) で定義されている「限定コンピュータソフトウェア」のいずれかの対象であるものとして、ソフトウェアが配布およびライセ

ンスされていることに同意するものとします。お客様は、適用される FAR 条項ないし DFARS 条項、またはかかる製品に関する当社の標準ソフトウェア契約によって、このソフトウェアに関する権利のみを保有することに同意するものとします。

オペレーティングシステムのサポートパックに対するサポート方針：当社は、最新のサービスパックを含め、マイクロソフト社のオペレーティングシステムを使用する HP ワークステーションに対するエンドユーザーサポートを提供します。本サポートが利用できるのは、ソフトウェアがリリースされてから 30 日以内です。

